

岐阜大会 オプション企画

議会基本条例で議会の民主化、活発化はすすむか

(企画の主旨) 議会の制度改革の基本となる議会基本条例は、約半数・860余の議会で制定されている。しかし条例の成果が不十分な議会が少なくない。この企画において現状の点検・試行錯誤、課題を探り、改革の切り口や論点を見出し、改善すべき部分や方向性を探る。あわせて未制定の議会への今後への指針や方向性を見出したい。

大会
2日目

9月29日(日) (参加は任意)

13:30～ オプション開会

コーディネイト・寺町みどり (『市民派議員になるための本』著者)

基調報告

各地の議会基本条例を議員の視点で点検

自由な討議がされているか。情報公開の結果は市民と共有され政策提言につながっているか。市民の意見が反映されているか。市民参加は一部に留まっていないかなど。これらのよい例、悪い例。

上野ほたる (富山県富山市議会議員)

各地からの報告

基本条例は活発な議論を規定するのに発言を制限

16年前に一般質問回数が年2回になった。今年度から年4回が復活したものの、年間の持ち時間は60分のまま。これが議会改革か。太田あゆみ (香川県高松市議会議員)

「議会報告会」でなく「市民と議会の対話集会」

はやりの市民への「議会報告会」は成功するか。条例で「市民と議会の対話集会」と規定するなか、試行錯誤で改善に奮闘中。

井上あけみ
(岐阜県多治見市議会議員)

議会改革度1位の芽室町議会の現状はどうか、不足している点は？

めざす議会は議員と市民で一致しているのか。批判ではなく客観的な視点で議員として議会を考察し、課題を示す。

正村きみこ
(北海道芽室町議会議員)

議会基本条例ができなくても、議会改革をすすめる

条例策定の協議はできないけれど、有志による議会報告会、議会傍聴時の保育、「市議会NAVI」の発行、視察前の勉強会などを実施。

いけぶちさちこ
(大阪府吹田市議会議員)

できたばかりの議会基本条例。運用が課題

今年3月に条例を制定。全国初の「(多様性の尊重)・多様な立場の市民の声が反映されるようにしなければならない」を入れた。

矢澤江美子
(埼玉県八潮市議会議員)

15:00ごろ 参加者との意見交換

まとめ
16:30 オプション終了

なお、大会1日目後半に次の報告予定

議会改革度5年連続1位の北海道芽室町議会と市民ランキング1位認定(※)の理由は「議会基本条例を検証。多様な世代の住民参加の促進」など。(※早稲田大学マニフェスト研究所ランキング)

正村きみこ
(北海道芽室町議会議員)

- 会場 / 岐阜市文化産業交流センター「じゅうろくプラザ」 ☎058(262)0150
- 参加費 / 会議室料など経費の分担として議員1,000円(当日徴収)。市民は無料別紙「参加申込書」を用いてメールかFAXで、9月13日(金)までをお願いします。(当日参加も可)

主催 ● 市民オンブズ全国大会 in 岐阜・2019 実行委員会

お問合せは、岐阜県山県市西深瀬208 (大会・実行委員長) 寺町知正 方(くらし・しぜん・いのち 岐阜県民ネットワーク)

TEL・FAX 0581-22-4989 tera@ccy.ne.jp